



北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No31
文責 芹川博文
12月6日(金)

誰かの行動が 何かを変えていく

～ 師走に入り それぞれの挑戦とその挑戦を応援してくださる姿から ～

短い秋が過ぎ、師走を迎えました。今週、3年生の三者教育相談が終わり、1、2年生は次期生徒会役員の選挙を行いました。それぞれが「新しい扉」を開ける準備に入っています。「新しい扉」を開ける時、様々な不安がよぎります。「扉の向こうにどんな世界が広がっているのか」「第一、この扉は開くのか」など。

振り返ってみると、私も思い出す事があります。部活動では、柔道の二段試験に6回目くらいでようやく合格しました。負けて帰ってくる度「よかよか、次、頑張り」と励ましてくれた父の言葉を思い出します。英語検定では、準1級試験で、こちらも5回くらい落ちました。先輩の先生のアドバイスに励まされ、過去10年分の問題を解いて挑んでも落ちた時は、さすがに「だめかも」と落ち込みました。ところが、次の試験、仕事も多忙中、ダメ元で受けた試験でまさかの合格。「こんなこともあるんだ」と思ったことを覚えています。

がんばっても思い通りの結果が出ないことがあります。いや、思い通りにならないことが多いかもしれません。しかし、挑戦し続ける時、その努力は次につながります。

「うまくいったか」でなく、「自分なりに精一杯挑戦できたか」を大切にしてほしいと願います。「一日の稽古を鍛といい、千日の稽古を錬という。中学三カ年に培われる菊心魂こそ、北中生の指標である。」

PTA 役員の皆様が、生徒昇降口にクリスマスツリーを飾ってくださいました。「子どもたちが、ツリーを見て少しでもホッとする気持ちを感じてくれたら」との言葉。挑戦する生徒たちを見守り応援してくださる方々の温かみが沁みました。



発見！キメラ咲き 菊の世界も「My color」

～ 「違い」を「豊かさ」に 色とりどりに咲く個性豊かな北中菊より ～

「この色の組み合わせは、めずらしいです」と、教えてもらった菊の色は、黄色と赤色が、半分半分の菊。「白と赤、白と黄色の組み合わせはあっても、黄色と赤の組み合わせは珍しい」とのこと。色が混じった咲き方を、「キメラ咲き」というそうです。「キメラ」とは、もともとギリシャ神話の中の空想上の怪獣から名づけられたものとか。北中の今年の生徒会テーマ「My color」の世界は、菊の世界にもあるのかと思わされました。

多感な中学校の3年間。心身ともに変化し続けます。切磋琢磨する中で、驚くほど大きく変わることもあります。だれかの姿や、だれかの励ましの言葉が、その変化を後押しします。

今、1校時体育の授業、2年生が長距離走に取り組んでいます。「ファイト！」という声がグラウンドに響いています。

一人一人の頑張りや個性を、お互いが認め合い支え合う北中生の姿と、誇らしげに咲くキメラ咲きの菊の花が重なりました。

